

議会だより

おしのがわ

No.29

平成24年2月25日
発行：吉野川市議会

●目次●

議案の審議から	2
代表質問	5
一般質問	7

市民のページ	14
クイズ	15

平成23年12月議会定例会

議案の審議から

日程：平成23年12月5日～12月22日

12月定例会では、条例関係案3件、予算案2件、専決関係案2件、その他15件が提案され、原案どおり可決・承認されました。



産業建設常任委員会

▼平成23年度吉野川市一般会計補正
予算について

質問 農村環境改善センターの改修により、農業振興課とは部局が異なる、青少年育成補導センターとつつじ学級が移

管理はどのように行うのか。部局間での協議はできているのか。

転される。当センターはスポーツなどで市民に貸し出されているが、鍵の

農業振興課長 現在、農村環境改善センターの鍵は、農業振興課と川島支所地域課で管理し、利用者との受け渡しを行って

に、今後、検討を進めていきたい。

質問 ほたる川総合内水緊急対策事業について、ほたる川排水機場が完成しても、平成16年の台風23号のような雨が降ると、ほたる川流域では50cm程度の浸水が起こる場所が出てくる。市民は排水機場が完成すれば、もう浸水は起きないと思っているため、このことを市民へ説明しないといけないと思うが、どのように説明するのか。

いる。今回、2つの事務所が農村環境改善センターに移転するにあたり、教育委員会と協議を行っているが、常駐できる職員がいらないことや、現金を扱うことのできる職員がいらないため、センター内での鍵の管理は難しいと考えている。鍵の管理などについては、利用者との利便性が向上するよう

建設課長 事業の内容については、年明けに流域の自治会を中心に説明会を開催したいと考えている。その中で浸水に関する情報については、できるだけわかりやすいかたちで、説明しようと考えている。

◇以上異議なしで可と決定

文教厚生常任委員会

▼財産の取得について

質問 学校給食センターで現在使用している給食車の1年間の走行距離、整備状況は。

また、今回購入する給食車はガソリン車、ディーゼル車のどちらなのか。

kmで、整備状況については、年1回の車検を行うとともに、毎日点検を行い、不備があれば修理を行っている。

今使っている給食車はすべてディーゼル車で、今回購入する給食車もディーゼル車である。

学校給食センター所長
1年間の走行距離は約7000kmから8000

◇以上異議なしで可と決定



市の給食車

【その他の質問】

質問 他の市町では、高齢者に対する肺炎球菌ワクチンの公費助成を行っている。

肺炎球菌ワクチンは1回接種すると、5年間免疫効果があるとされ、接種普及推進は医療費の削減、また尊い生命を守るという効果があると考え

る。肺炎球菌ワクチン接種助成について、市の考えは。

健康推進課長 本市では高齢者の方を対象に、インフルエンザ予防接種を実施している。

今後ともインフルエンザ予防接種の推進については、肺炎予防のため広報に努め、高齢者の肺炎球菌ワクチンの助成については、今後国の動向を注視していきたいと考えている。

総務常任委員会

【その他の質問】

質問 環境センターと西環境センターが、統合する計画があると聞かすが、詳しく説明を。

環境企画課長 現在、環境センターで鴨島地区を、西環境センターで川島、山川、美郷地区のごみ収集業務を行っている

が、両センターの統合については、合併当時から懸念事項でもあり、また、後期総合計画の中でも示されているように効率的な事務・収集体制を

図るため計画を進めている。

時期については、まず、ゴミ袋の統一、カレンダーの掲載などソフト面での統合を進めてきた。

今後の計画では、現給食センター跡地に事務所、車両基地として整備計画を進めている。

質問 現給食センターの跡地に計画しているとのことだが、近隣住民の中には反対されている方もいると聞いている。また、車両数も多くなり現施設では対応できないと思う

が、どのような計画になっているのか。また、西環境センターの車庫はかなり良いものだと思われているが、この施設はどうするのか。

環境企画課長 地元説明会では、交通対策、臭い対策などの意見があり、交通対策としては国道との交差点に信号を設置し、臭い対策としては中央広域環境センターでの車両の洗浄、車庫の密閉性を図るなどの対策を講じるということで理解を求めた。その他の意見要望に対しても理解を得られるよう対応し、計画を進めたい。

現給食センターの施設は取り壊し、新たな施設を建設し、西環境センターの車庫は、電動シャッターの機能も備えており、まだ新しいものなので移設する方向で考えている。



環境センター(鴨島町)



西環境センター(山川町)

代表・一般

ここが聞きたい

質問

12月議会定例会では9名の議員が代表・一般質問を行いました。●の質問を中心に取り上げました。

代表質問

① 工藤 俊夫 議員

- 地震・水害など防災対策について
- 水害（内水）対策について
- 事務事業の行政評価について
- 文化施設などの充実について
- 人権基本計画の進捗状況について
- 麻植協同病院の移転改築について

② 高木 純 議員

- 自主防災会について
- 麻植協同病院移転について
- スポーツ振興と保健活動について

一般質問

③ 福岡 正 議員

- 第5期介護保険事業計画について
- 介護予防の取り組みについて
- 限界集落について

④ 岸 田 益雄 議員

- 災害時における情報伝達の方法について
- 災害時におけるライフラインの確保について
- 市街地の雨水対策について

⑤ 相原 一永 議員

- 非常勤行政委員会委員の報酬について
- 子育て支援の充実について
- 保健医療の充実について

⑥ 細井 英輔 議員

- 今後の幼稚園・保育所のあり方について
- 宮川内牛島停車場線の安全対策について
- 巡回バスについて

⑦ 栗原 五男 議員

- 産業経済振興策について
- 小・中学校の学校再編計画について
- 上下水道について

⑧ 枝澤 幹太 議員

- 安全・安心なまちづくりについて
- 次世代を担う子どもたちの育成について
- 環境を大切にする美しいまちづくりについて
- 内水対策について

⑨ 岸田 秀樹 議員

- ごみ収集について
- 防災体制について
- 吉野川遊園地跡地について

平成23年12月議会定例会

代表質問



上浦活断層図

◎質問 日本のは、徳島県には鮎喰川断層と上浦断層の2つの活断層がある。上浦断層

は、徳島県中央部をほぼ東西方向に伸びる右横ずれ断層であり、それは、鴨島町南山麓に集中しており、人家の近くに右横

防災マップに上浦断層の位置を記載し、周知する

(答弁)

鴨島町南山麓に集中している上浦断層の情報提供を

(質問)



工藤 俊夫 議員
(薫風会)

◎上野防災局長 上浦断層は、東西に約14km走っており、山津波警戒区域に指定される地域は、林野庁の山地災害危険地区内であり、山腹崩壊危険地・崩壊土砂流出危険地区・地すべり危険地区に指定されており、平成23年3月31日現在では、200か所を指定している。自主防災組織に位置図などを提供し、断層などがあることを認識していただ

◎市長 現在、県と麻名用水組合との交渉は、良

◎質問 水害(内水)対策について。加減堰は80年ぶりに撤去に向けて前進している。そこで合併前に、麻名堰の撤去に石井町と鴨島町が一部経費を負担する計画があった。合併した本市としても一定の経費負担は必要であると考えているが。

【その他の質問】

は、徳島県中央部をほぼ東西方向に伸びる右横ずれ断層であり、それは、鴨島町南山麓に集中しており、人家の近くに右横ずれ断層が存在している。しかしながら、市はこの情報を周辺住民や関係自主防災会にも情報提供していないし、防災訓練もしていないのではないか。市民の安心安全のため早急に関係者に、上浦断層の情報を提供する考えはあるのか。

◎再問 小型ヘリコプターを活用した鴨島町南山麓の自主防災会などで、総合防災訓練をしてはどうか。
◎上野防災局長 ヘリコプターの離着陸訓練というところで総合防災訓練時に、支援物資の搬送や救急搬送の訓練を検討する。

く。また、防災マップを作成するときには、上浦断層の位置を記載し、周知してまいりたい。

好に進展している。

麻名用水堰の撤去が飯尾川による内水水害の解消に重要な懸案事項であるので、全面的な協力をしていく。

◎質問 事務事業の行政評価については、職員の理解度に差ができ、正確な結果となっていない。全職員の定期的な研修を実施してはどうか。

○総務部長 よりよい行政評価を実施していけるよう、職員の資質向上はもとより、理解をより深めるため研修を行う。

◎質問 鴨島公民館の大規模改修に見合う、本市の文化発展につながる国民文化祭を開催してはどうか。

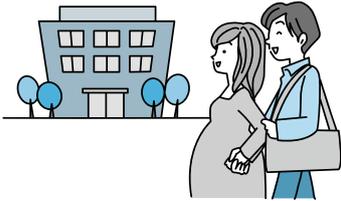
○教育次長 鴨島公民館のリニューアルにあわせ、平成24年11月23日の予定で国民文化祭の行事を開催したい。

◎質問 人権教育・啓発に関する基本計画策定審議委員会の答申の取り扱いについては。

○市民部長 審議会の答申を尊重し、基本計画書を作成したい。

◎質問 麻植協同病院の移転改築に伴う産科の分娩再開は。

○市長 市としても分娩再開の支援は、どのような支援が最も効率的なのか、厚生連からの要望なども聞く中で積極的に検討していきたい。



高木 純議員
(日本共産党)

麻植協同病院と協力して吉野川堤防で健康ウォーキング教室などを行えないか

(質問)

厚生連と十分協議したい

(答弁)

◎質問 麻植協同病院が吉野川遊園地跡地に移転することとなった。この際、すぐ目の前にある吉野川堤防を市の保健事業の拠点地として、肥満防止や糖尿病予防のためのウォーキング教室などを、市と病院スタッフが共同して行えば市民の健康増進となる。

そのために、堤防を管理する国土交通省とも協議して吉野川堤防に市がウォーキングコースを設置し、麻植協同病院にも

医師の指導や血圧測定などを要請してはどうか。

○河野副市長 麻植協同病院の基本構想に地域住民の健康対策や地域貢献を行いたいとある。移転先が自然環境に恵まれ、ウォーキングやマラソンに良い場所なので、これから厚生連と十分協議したい。

【その他の質問】

◎質問 移転する麻植協同病院へのアクセスとし

て、バス停の設置や、JR西麻植駅の北側に北出口の新設など考えてはどうか。

○総務部長 JR四国によると駅の改修費用などは原因者（要請する者）の負担となる。そのため

市としては、厚生連と協議連携しながら、現在のJR鴨島駅およびバスの利用状況、駅の改修またはバス路線変更による利便性の向上、改修費用や営業損失の市の負担など、投資効果を十分検証し必要性を検討したい。



マラソンのスタート

平成23年12月議会定例会

一般質問



福岡 正 議員

介護給付費の実績と保険料改定の内容は

(質問)

必要最低限の改訂額を策定委員会に諮っていく

(答弁)

場合、どの程度の軽減になるのか。

◎質問 介護保険制度はサービスが拡大することに伴い、ある程度保険料が上昇することはやむを得ないが、給付と負担のバランスが重要と考える。

第5期介護保険事業計画(平成24年度～26年度)を策定する上で必要となる現在の給付実績と、今後の見通しは。

また、保険料上昇緩和措置として、財政安定化基金を取り崩して保険料の軽減を図るとの法改正だが、基金を取り崩した



◎河野健康福祉部長 第4期介護保険事業計画

(平成21年度～23年度)の実績などを見ると、全体的に給付費は増加傾向にある。介護保険料設定については、来期のサービス単価が示されていないので、今後国・県からの情報を得た上で具体的な算定にかかっていく。

介護保険料の上昇抑制措置として、財政安定化基金の取り崩しを決定しているが、現在県で集計作業中のため、現時点ではどの程度の抑制効果があるか不明である。

介護保険料の改定は、第5期期間中の介護サービスの給付を賄う上で必要最低限の額としてと考えている。

今後、本市の介護保険給付費準備基金の取り崩しや、低所得者への負担軽減を考慮した所得段階の細分化などについて、策定委員会に諮っていき

【その他の質問】

◎質問 介護予防に力を注ぎ、事業を充実させることが大切と考えるが、本市の取り組みと今後の展望は。

◎健康福祉部長 法改正により、配食・見守りを含む生活を支える総合的で多様なサービスを提供できることになったが、当面は現状の地域支援事業などの介護予防事業によるサービスを発展させていきたい。

◎質問 日常生活圏二丁目調査の分析結果は。

◎健康福祉部長 要支援・要介護状態になるおそれのある2次予防対象者判定が全国平均値より高いという結果が出ています。対策として、要介護状態になることを予防するための事業や施策の充実が必要と考えており、取り組みを進めていく。

◎質問 本市の限界集落はどれくらいあり、どのような支援策があるのか。

○総務部長 県の定義に準じて、美郷地区を対象集落としている。平成22年4月末の美郷地区43集落のうち25集落が限界集落である。

現在の支援策としては、交通弱者のための福祉タクシー・代替えバスのほか、治山・農林業・観光・産業振興・地域文化事業などを支援している。また、高齢者対策の一環として民生委員、友愛訪問員による安否確認などを行っている。

今後も関係機関と協力して、高齢者の安全・安心対策を支援するとともに、市としての各種施策も取り入れ支援していきたい。



岸田 益雄 議員

災害時および災害後の情報伝達方法について

(質問)

本市に適した通信システムを構築する

(答弁)

◎質問 本市が災害時に市民に向けて発信する情報伝達手段として、山川町と川島町に設置されている防災行政無線などがあるが、老朽化が進み、今後の使用はおぼつかないものがあり、また国の施策でデジタル方式への移管も進められていることから、今のシステムを継続するのは困難になっ

てきていると聞くと、本市の防災行政無線の現状は、
 における市民への情報伝達手段については、災害対策基本法第56条の規定により、「市は地域防災計画で定められた手段により住民に情報を伝達しなければならぬ」とされている。本市の情報伝達システムの現状は、各地域とも旧町村からのシステムをそのまま使用している。しかし、鴨島地区は、無線設備などは全く無く、災害時などには、広報車で周知を行っている。

○上野防災局長 災害時



戸別受信機

◎再問 災害情報を正確に伝える手段としては高額な設置費用と多額な維持管理費のかかる、防災行政無線を再整備するより、有線・無線の情報伝達システムなどのベスト・ミックスを考えるなど、時代に合った情報伝達の手段を選ぶほうが、より安価で市民に正確な情報を伝えることができ

ると思うが、今後どのような手段で市民に情報を伝達するのか。

○上野防災局長 現在の通信システムは合併前の施設をそのまま使用しているもので、大きな問題点が2つある。

ひとつは、地域格差の問題で、鴨島地区を除く3地域には無線システム

があるが、鴨島地区での設備はまったく無い。

2つ目は川島地区、山川地区の無線設備の老朽化が深刻で早期の新システムへの移行が急務となっている。

防災無線通信システムのあり方を検討するため、2月に「吉野川市防災情報通信システムあり方検討チーム」を立ち上げた。副市長他9名の職員で構成されている。

11月17日に第2回の検討会を開催し、MCA無線システム、コミュニティFM、エリアアトック、デジタル同報系無線システムなどの個別検討、さらにはこれらのシステムの組み合わせによる複合検討を行った。

また市民への防災情報、情報伝達に関して市民1000人による意向調査を実施している。

この結果も踏まえた上で、さらなる防災情報通信システムの絞り込みの検討を行う。



授乳室を備えた公共施設



相原 一 永 議員

公共施設・民間施設に、おむつ替え・授乳スペースを設置してはどうか

(質問)

既存庁舎・増築棟内に設置を検討する

(答弁)

◎質問 乳幼児を抱える保護者の子育てを支援す

る取り組みの一環として赤ちゃん駅などと命名し

て、外出中におむつ替えや授乳などで立ち寄ることができるとして、本市にはどこにも整備されていない。子育て中の皆さんが外出しやすい環境を整えることが、育児ストレスや子育て家庭の孤立を軽減し、地域の活性化にも繋がると思う。公共施設だけでなく民間施設とも協力し、地域社会全体で子育て家庭への支援が必要である。そのためには授乳室・おむつ替えスペースを確保し、併せてネーミングも検討してはどうか。

※県内の設置箇所数には子育て支援センターや保育所などは含まれていない。

○工藤総務部次長 安心して子育てができるまちづくりや、子育て家庭が外出ししやすい環境整備として、市役所などの公共施設におむつ交換台の設置や授乳スペースの確保に取り組み自治体が増えている。今後関係部署と協議しながら、既存庁舎および増築棟の中で、おむつ交換台や授乳スペースの設置、またそのネーミングなども検討したい。

は規定の整備などさまざまな問題があるので今後の検討課題としたい。

【その他の質問】

◎質問 脳脊髄液減少症について幅広く知るために、DVDや小冊子を活用してはどうか。

○教育次長 各学校での職員研修を行うための資料として現在購入準備をしている。

◎質問 非常勤行政委員会委員の報酬を日額制にしてはどうか。

○総務部次長 現場実態の把握や関係当事者間の仲裁を行うなど、委員としての職務が多岐にわたっており、情報収集や調査など、勤務実態を定量的に把握することが困難な部分があるため日額制にするのは難しい。

○河野健康福祉部長 現在、市の公共施設での整備状況は十分とは言えない。子育て支援の観点から、今後建設する施設は もちろん、整備されていない施設についても関係課と連携しながら検討する。

民間施設への取り組み

本会議・委員会の傍聴をしませんか



皆さんが選んだ議員の活動や行政が今、どのようなことを行っているかを知っていただくために、本会議などの議会の傍聴をしませんか。どなたでも傍聴できます。お気軽にお越しください。

TEL 22-2241



細井英輔 議員

庁舎統合後、山川庁舎も幼保一元化の施設として活用しないのか

(質問)

幼保再編構想計画を策定し決定する

(答弁)

◎質問 平成18年度から21年度まで、吉野川市子育て支援検討市民会議、保育所運営検討委員会、教育振興計画審議会、吉野川市幼稚園あり方検討委員会などが開催され、保育のあり方について検討し、川島庁舎、山川庁舎が空き庁舎となった場合、幼保機能を連携させ一体化施設として有効活用したいとのことだったが、その後、どうなっているのか。また現在の各保育所や幼稚園の児童

数で、社会性や生きる力の基礎を培うことができているのか。一定の集団規模の確保が必要ではないか。一定水準以上の保育、幼児教育の実現をめざすべきだと考えるが。

○増富健康福祉部次長

近年の少子化や核家族化の進行、幼稚園、保育所の施設の老朽化が進む中、就学前における保育ニーズはますます多様化し安心して子どもを育てる環境整備を進める必要



山川庁舎

がある。現在、幼保の現状や今後のあり方、空き庁舎の活用方法、施設改修の基本計画および積算、幼保の各要望のまとめを行っている最中である。

◎再問 各地で台風やゲリラ豪雨が頻繁に発生し

起きていることは、本市にも起こり得る状況と考えられる。将来を担う子ども達は、新耐震基準を満たし、洪水に見舞われても3階以上がれば安全で安心な場所として、山川庁舎は幼保施設として最適であると考えているが。

○増富健康福祉部次長

本年度中に市全体の幼保再編構想の計画を取りまとめる予定である。空き庁舎の活用方法も含め、幼保再編の運営方針や方向性、具体的な施設利用などについて、幼保再編構想計画の中で決定したい。

◎質問 宮川内牛島停車場線の歩道橋の北側に線路の下を通っているアンダーパスが台風時には浸水するが、安全管理体制は。

[その他の質問]

◎建設部長 県に巡回パトロールの強化を要望し、市としてアンダーパスの通行の安全確保に努める。

◎質問 平成24年4月に社会福祉協議会が徳島県吉野川合同庁舎に移転し補導センターとつじ学級も農村環境改善センターに移転するが、この2か所も巡回バスの停車場所にできないか。

◎総務部次長 運行時間や安全確保、関係機関との協議をし検討したい。



栗原五男 議員

地元企業育成のための補助金制度創設は

(質問)

経済団体などの意見を聞き検討したい

(答弁)

◎質問 町を元気にするには起業する人や、地元企業を育てていくか、またはいろんな補助金を活用して企業を誘致するといったことが考えられる。市の経済産業振興策について、

①地元企業を育成するための補助金制度を創設する考えは。

②「鴨島駅前まちづくり会議」の主催するイベント「低炭素型まちづくり」に対する市の支援は。

③鴨島大菊人形、四国菊花品評会の今年の成果と

して、どのようなことがあげられるのか。また商店街の活性化を図るため開催場所を鴨島駅前に移す考えは。

○大久保産業経済部次長

①本市では企業を育成支援するための施策として、セーフティーネット保証制度の申請認定事業やふるさと融資がある。セーフティーネット保証制度では、平成21年27件、平成22年188件の申請があった。ふるさと融資は1件の利用があった。今



五九郎マーケット（鴨島駅前）

後、市独自の支援策について商工会議所や商工会など経済団体の意見を聞きながら検討していきたい。

②市内では、さまざまな団体が目的に沿って活

動を展開し、町の発展を願う運動している。市行政は環境、福祉、医療から産業、社会資本の整備など広範であり、これを効果的に執行するために各分野ごとに部局を設置

している。市として団体などの支援については必要に応じて、関係部局で協議、調整するよう努めていく。

③第71回となる菊人形、菊花展は3万2000人の来場者で昨年より6000人少なかった。

◎質問 休日における上水道の開栓について、現状ではどのような対応をしているのか。

○水道部長 休日、夜間などにおける業務については内容により業務係または施設係で対応している。課内の連絡を密にし、利用者に迷惑をかけないようにする。

◎質問 江川地区の下水道接続状況は。

今後PRを積極的に行い、さらに創意工夫を加え多くの皆さんに楽しんでもらえるよう努力をする。開催場所の駅前については、トイレおよび大型バスなど駐車場の確保が困難である。

【その他の質問】

◎質問 小・中学校の再編にむけて地元および保護者への説明は。

○水道部長 江川流域沿いの接続率は72・6%となっている。今後は奨励金制度の活用、広報による啓発、未接続世帯への個別訪問指導など積極的に取り組みたい。

○教育次長 再編計画策定の過程においてPTAなどに対する意見聴取やパブリックコメントなどを実施し、市民の皆さんに向けた丁寧な説明を行っていきたい。





枝澤幹太議員

公共の建物が、被災者を安全に
収容できるのか

(質問)

今後安全に収容できる避難所が
増える

(答弁)

◎質問 昨年の東日本大震災の折、被災者の多くは地域の小・中学校校舎や体育館、公民館へ避難を余儀なくされ、命はとりとめたが暖をとったり食料、水の確保にも苦労を強いられた。本市でも、南海、東南海連動地震の発生や、地球規模の温暖化による気象の変化が原因で起こる台風の大型化や多発するゲリラ豪雨での洪水や山腹崩壊の大規模災害が心配される。想定される被災者は数千人にも達し、多くは小・中

学校を中心とした地域の公共施設へ避難していくことが予想される。被災者を安全にその建物へ収容できるのか。

○上野防災局長 市内の指定避難所の大半は、学校施設や公民館などで、平成23年度末耐震改修が予定どおり完成すると耐震化率が86%になり、安全に収容できる避難所が増える。また、住居などが喪失した避難者や、引き続き救護が必要とされる人には、避難所を指定

する。長期になる場合は、県営、市営住宅などの斡旋を行う。また住居が不足する場合は、仮設住宅の建設、旅館やホテルを仮設住宅として借り上げを行う考えである。



避難所となる公共施設

【その他の質問】

◎質問 子どもの新拠点づくりとは、具体的にどのようなものか。

○健康福祉部次長 国の子ども園をモデルとし

た、子育て支援の中核的な役割を持つ子どもの新拠点施設をめざすもの。

◎質問 小・中学校の夏の暑さ対策は。

○教育次長 普通教室の

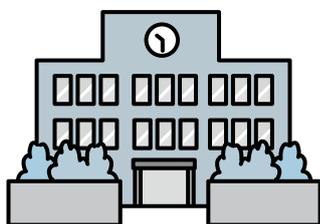
エアコン設置については引き続き検討したい。

◎質問 環境省が策定したエコアクション21をどのように考えているのか。

○総務部次長 取り組みの費用対効果などを検証したい。

◎質問 桑村川上流部の内水対策および改修について。

○建設部長 県で未改修部分について河川整備計画に要改修区間として指定される予定である。



◎質問 年末年始には多量の燃えるごみが出るが、鴨島のA地区では12月26日の収集が最後になり、新年最初の収集日までごみを一時保管しなくてはならない。ごみ回収期日問題については、先議会などで要望した結果、本年度より振替休日収集はできるようになった。

しかし、新年、最初の収集日まで9日間の未収集日となる。休日収集を引き続き行い、市民生活の利便性を高める必要がある。また、次年度のごみ収集カレンダーが年の瀬に配布となっているため、収集日程がわかりにくいという苦情が起きている。他市では4月から翌年の3月までの年度区切りとなっているところもある。1年分の暦を12月と翌年の1月、2か月単位のカレンダーを作り市民に配布するという方法もあるが、今後市民に対してどのような方法で予定案内をするのか。

市民の利便性向上のため努力する

(答弁)

年末年始の燃やせるごみの収集を7日以内に行えるか

(質問)



岸田 秀樹 議員

○河内環境局長 平成23年は9日間休業日収集を行っている。現在は、1週間のうち4日間が資源ごみと燃やせるごみの併用収集となり、平成24年度については燃やせるごみの収集に加えて資源ごみの収集については燃やせるごみの収集に加えて資源ごみについて、平成23年度から7日間に1回は収集できるように努力したい。収集カレンダーについては、平成23年度から1年分あるのが一般的で、紙面の整理を行い、カレンダー部分を大きく四つ折りにしても見やすく、省スペースで掲げるように工夫して力したい。



市のごみ収集車

会議録をご覧ください

議会だよりに掲載された事柄以外の質問や答弁の内容を吉野川市のホームページ内に掲載していますので、ぜひ一度ご覧ください。

吉野川市議会会議録

検索



市民のページ

新生吉野川高校の

飛躍を願う

鴨島町 河見博之

私は、鴨島東中学校を卒業し、昭和37年4月徳島県立鴨島商業高等学校へ入学しました。

中学3年生のとき、生徒は約250名、5クラスあり、高校への進学では、県内どこの高校も

定員が少なく受験生が多いという現実があり、大変厳しい環境にあったことを覚えています。

このようなことから、進学コースの者は、今日のような学校の授業内容を補完できる学習塾はありませんでしたので、学

の事柄が歌詩の中に上手に表現されていると感銘いたしております。

また、当時の首相は、池田勇人さんで所得倍増政策を掲げ、国民の生活上安定をめざしておりました。オリンピックが

東京で開催され、まさに高度経済成長の真つ只中にありました。

なぜ鴨商への進学を選んだのかは、珠算・簿記などいろいろな技能を身に付け社会で働こうと

思ったことを記憶しています。

入学当時は町立から県立に移管してすぐだったため、古い校舎と敷地の

東の方に2階建ての新築された教室棟があり、校庭は河川敷を思わせるよ

うな大きな石が所々露出して

いる状況でした。1年生のとき、体育館が新築になり、校舎とか

管理棟も木造でしたが順次新築されました。

このような環境の中で、生徒たちは、野球、サッカー、ラグビー、バスケット、バレー、剣道などで

心身を鍛えながら勉学に励み、社会に出たとき即

役立つ各種検定、試験を受験し、上級位への合格を競ったものでした。

高度経済成長の渦中、卒業後は、取得した各種の検定合格証で社会貢献

できることを胸に、人材を必要とした数多くの企業に就職。定年に至るまで各界の一員として活躍

してきました。

在学中、種々詳細にご指導してくださった教師

の方々には深く敬意を表すものですが、刻んできたことは、すばらしい事実であります。

現在、私が卒業した当時の校舎などはありませんが、今は鉄筋化されたすばらしい学舎に生まれ変わりましたが、卒業回数も56回を数え、卒業生は1万421名と拝聞しました。移り行く時代の中で、時々の卒業生が世の中で活躍し、今日の鴨島商業高等学校の歴史を

らご祈念申し上げます。新生吉野川高等学校の栄えある発展、そして関係各位のご活躍を心から

中国電力の電力事情を

視察して

鴨島町 日野俊作

東京電力福島第一原子力発電所は、平成23年3

月11日、東北地方太平洋沖地震により自動的に停止した。その後の津波に

よる被害で電力が失われ、原子炉内が高温・高圧になったことにより、

水蒸気爆発が起こり、放射性物質を放出すると言

ある。このような電力事情を

把握するため、吉野川市自治会連合会は、初めての会長研修視察として、中国電力の2つの発電所関連施設を視察した。

1月19日朝、美郷・山川町を6時50分に出発したバス2台は、岡山道・米子道を経由して島根原子力発電所へ、市役所を7時20分に出発した鴨島町の各会長は、玉島火力発電所へ、2班に分かれて行動、それぞれの目的地で研修した。

玉島発電所は、高梁川の河口近くの右岸に広がる42万㎡(甲子園球場の約11倍)の広さを持ち、3台の火力発電機で合計120万kwの発電能力がある。これは、岡山県で使われる電気の約半分に相当するそうである。しかし、見学時には1号機(35万kw)は、運転していなかった。現時点では、発電能力に余裕を残していたようである。

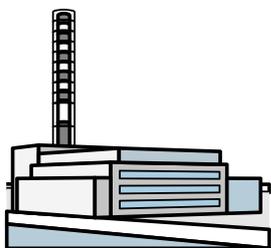
島根原子力発電所は、島根半島のほぼ中央、日本

海側の入り江や湾が多い風光明媚な丘の上、標高150mの高台にある。すぐ下の海岸に、2つの建物が見下ろせる。海拔8・5mのところにある原子力発電所である。この建物は、1号機(45万kw)2号機(82万kw)の原子炉建屋である。

昨年12月に完成予定の3号機は(137万kw)は、いつ完成するかその目途が立っていないと言う。1号機は定期検査中、2号機も1月27日から定期検査に入る。これで、中・四国の原子力発電所は、全て停止になる。

中国電力は、玉島発電所の1号機の運転を止めていたように、電力の供給に余力があり、関西電力へ、送電していたようであるが、原子力発電所の2号機の停止は、玉島発電所の1号機の稼働や関西電力への送電をストップだけでは収まらない。中国地方全県民への節電要請や企業の電力供給削減にまで響き、電気料金の値上げも要請されるであろう。(石油による発電は、原子力の2・2倍のコストがかかる。)

伊方原子力発電所がすべて停止されてから10日あまり。私達の四国電力でも同じ電力事情になると考えられる。原子力発電については、福島原発事故により、様々な問題点が露呈した。このことにより国民は多くの課題を突き付けられている。今回の研修視察に、私は、代理参加であったが、いい勉強の機会をいただいたと感謝している。



クイズ

?

苦しいときの○頼み
鯉の○登り
魚心あれば○心

〈問題〉 右の○に入る漢字はなにかな？

3つの漢字を入れ替えると吉野川市の名所になります。

答え 「○○の○」漢字で答えてね。

☆ヒント：映画『眉山』のロケ地にもなつたよ。

◎正解者の中から抽選で10名様に吉野川市ブランド認証品を進呈します。

◎応募要領／はがき、またはファックスに答えと住所、氏名、年齢、電話番号を明記の上、議会事務局へお送りください。

応募の際に「チョットひと言」添えてみませんか。

◎送り先／〒776-8611 吉野川市鴨島町鴨島1-15番地1

TEL(0883)22-2241 FAX(0883)22-2242

◎締め切り日／平成24年4月6日(消印有効)

チョットひと言

☆県の天然記念樹(壇の大クス)早く回復することを切に願います。千年の時をこえて私たちの誇りですものね。

(鴨島町 藤井さま)

☆主人が鴨の湯へ毎日通うのを楽しみにしているので続けていけるよう、努力してくださいね。

(鴨島町 楨納さま)

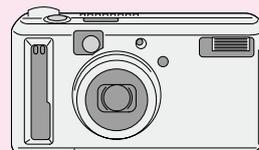
◎(前回の回答) 高越山

【応募総数】39通

募 集 要 項

- テーマ** 吉野川市で撮影した季節の風景や祭り、行事など。
- 規定** モノクロおよびカラープリント 2L判～四切・W四切組写真も可（3点まで）住所・氏名・電話番号・題名を明記。
- 締め切り** 平成24年4月27日（消印有効）
発行は5月です。季節感のあるものをお願いします。
- その他** 作品の返却は行いません。採用された作品の使用およびトリミングなど加工については、吉野川市議会広報特別委員会に帰属することをご了承ください。
- 応募先** 〒776-8611 吉野川市鴨島町鴨島115番地1
TEL (0883) 22-2241
FAX (0883) 22-2242

募 集



表紙の写真

市民の皆さんの
声を掲載

市政についての苦言やアイデア、趣味や人生観などに渡って文章を募集します。フアックスでも結構です。

：規定：

● 400字詰原稿用紙2枚以内
住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記

● 締め切り

平成24年4月6日（消印有効）

* 投稿多数で掲載できない場合は、ご容赦ください。校正などは、吉野川市議会広報特別委員会で行います。

：あて先：

〒776-8611

吉野川市鴨島町鴨島115番地1

TEL (0883) 22-2241

FAX (0883) 22-2242

あとがき

今年の4月1日に川島町、山川町、美郷の3商工会が合併して「吉野川市商工会」として発足することとなり内外から注目を浴び、期待されているところです。

行政の合併当時から各商工会で協議が始まり、多少時間がかかりましたが、合意に達しました。

吉野川市としても、商工行政を推進するうえで大変喜ばしいことだと思えます。

早速、吉野川商工会議所会頭から、市内の経済2団体と行政との間で連絡協議会を作り、吉野川市全体の商工、観光発展のため、互いに協力して行こうとの話があり、楽しみにしています。

現在、市内には

いろいろな町おこしグループ、NPO法人、各イベントの実行委員会などがあり、それぞれ活躍さ
れ高い評価を受けている
と思えます。

今後は、地域経済団体として、各団体の貴重な努力の成果を地域経済に反映させていただけることを願い、そして「吉野川市商工会」の誕生が、吉野川市発展の起爆剤となることをおおいに期待
しています。

河野 利英



12月定例会 No.29

平成24年2月25日

発行／吉野川市議会 編集／議会広報特別委員会
〒776-8611 徳島県吉野川市鴨島町鴨島115番地1
TEL 0883-22-2241 FAX 0883-22-2242
議会だよりは再生紙を使用しています

あしなみ

議会だより